

記入例（普通徴収へ切替える場合）

給与支払報告書
特別徴収に係る給与所得者異動届出書

年度 1. 現年度 2. 新年度 3. 両年度

日高市長殿 令和8年9月1日提出		所在地 〒350-1292 埼玉県日高市大字南平沢〇〇〇番地	特別徴収義務者 指定番号 870000001
フリガナ ヒワダ イチロウ		フリガナ マルマル カブシキガイシャ	宛名番号
氏名又は名称 〇〇 株式会社		所属 総務課 人事係	担当 氏名 日高 花子
個人番号 1111111111111111		個人番号の記載に当たっては、 右端を空欄とし右詰め記載	電話 042-989-2111 内線 ()
フリガナ ヒワダ イチロウ	フリガナ 日和田 一郎	(ア) 特別徴収税額 (年税額) 140,000 円	(イ) 徴収済額 35,600 円
生年月日 平成3年10月1日	生年月日 令和8年10月1日	(ウ) 未徴収税額 (ア) - (イ) 104,400 円	異動 年月日 R8年8月31日
個人番号 2222222222222222	個人番号 2222222222222222	異動の事由 1. 退職 2. 退職 3. 退職 4. 退職 5. 退職 6. 退職 7. その他 [事由・理由]	異動後の未徴収 税額の徴収方法 3. 1. 特別徴収継続 2. 一括徴収 3. 普通徴収 (本人納付)
受給者番号	受給者番号	1月1日現在の住所 日高市大字 南平沢△番地	異動後の住所 同上

異動がある方に関する事項を記入。

特別徴収税額通知書でお知らせした指定番号を記入。

3 新年度から異動届出書の提出時期は、給与支払報告書の提出時期（令和8年10月1日）から令和9年3月31日までの間に退職した人に未徴収税額がある場合には、一括徴収することになります。

1. 特別徴収継続の場合	特別徴収義務者 指定番号 所在地 フリガナ 氏名又は名称	法人番号 担当 所属 氏名 電話 内線 ()	新しい勤務先へは、月割額 _____ 円を ____ 月分（翌月10日納入期限分）から 徴収し、納入するよう連絡済みです。
--------------	--	--	---

該当する事由の番号を記入。

2. 一括徴収の場合	理由 1. 異動が令和8年12月31日までで、一括徴収の申出があったため 2. 異動が令和9年1月1日以降で、特別徴収の継続の申出がないため	徴収予定日 月 日	徴収予定額 (上記(ウ)と同額) 円	左記の一括徴収した税額は、 ____ 月分（翌月10日納入期限分）で 納入します。
------------	--	--------------	--------------------------	---

該当する事由の番号を記入。

3. 普通徴収の場合	理由 1. 異動が令和8年12月31日までで、一括徴収の申出がないため 2. 令和9年5月31日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額(ウ)以下であるため 3. 死亡による退職であるため	※市町村記入欄
------------	--	---------

【提出先】〒350-1292 埼玉県日高市大字南平沢 1020 番地 日高市役所 税務課 市民税担当 TEL042-989-2111 (代表)

8月末で退職した給与所得者の徴収方法を、9月分から普通徴収に変更する場合。

(ア) 特別徴収税額（年税額）	140,000（6月から翌年5月分）
(イ) 徴収済額	35,600（6月から8月分）
(ウ) 未徴収税額	104,400（9月から翌年5月分）
	↑
	普通徴収税額